

令和3年度

教員免許状更新講習

募集要項



八戸工業大学

教員免許状更新講習募集要項

○教員免許状更新講習の開設について

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21年4月1日から教員免許更新制が導入されました。

八戸工業大学では文部科学大臣の認定を受け、本学の特色を生かした選択領域の講習を対面授業形式で開設します。

1. 受講対象者

受講対象者は〔教育職員・教育の職〕又は〔教員採用内定者・教員採用内定者に準ずる者〕のいずれかの区分に該当し、下記（１）～（４）のいずれかに該当する方となります。

ご自身が受講対象者に該当するかについては、各自の責任において文部科学省のホームページでご確認いただくか、免許管理者（都道府県の教育委員会）又は勤務先等にお問い合わせください。

文部科学省 HP http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/08051422/004.htm

（１）旧免許状所持者で令和４年３月３１日が修了確認期限となる方

受講対象者の生年月日	修了確認期限	免許状更新講習受講期間 及び 更新講習修了確認申請期間
昭和31年4月2日～昭和32年4月1日 昭和41年4月2日～昭和42年4月1日 昭和51年4月2日～昭和52年4月1日	令和4年3月31日	令和２年2月 1日～ 令和４年1月31日

（２）旧免許状所持者で令和５年３月３１日が修了確認期限となる方

受講対象者の生年月日	修了確認期限	免許状更新講習受講期間 及び 更新講習修了確認申請期間
昭和32年4月2日～昭和33年4月1日 昭和42年4月2日～昭和43年4月1日 昭和52年4月2日～昭和53年4月1日	令和5年3月31日	令和3年2月 1日～ 令和5年1月31日

（３）新免許状所持者（平成21年4月1日以降に初めて授与された免許状を所持する方で、有効期間満了日が令和4年3月31日又は令和5年3月31日の方。

なお、新免許状を複数所持している場合は、最も遅い有効期間満了日に統一されます。

（４）その他

既に修了確認期限を過ぎた方、修了確認期限を延期または有効期間を延長されている方などで受講対象者となる方

2. 開設講習・募集人員・日程

選択領域（幼児、児童又は生徒に対する教科指導及び生徒指導上の課題）としての講習を対面授業形式で行い、1日6時間の講習を3講習開設します。

(1) 開設日・講習名・時間数・募集人員・受講料

開設日	講習名	時間数	募集人員	受講料
令和3年8月4日（水） 午前 9:00～12:10 午後13:20～16:40	【選択】環境・エネルギー問題を考える①	6時間	30名	6,000円
令和3年8月5日（木） 午前 9:00～12:10 午後13:20～16:40	【選択】環境・エネルギー問題を考える②	6時間	30名	6,000円
令和3年8月6日（金） 午前 9:00～12:10 午後13:20～16:40	【選択】環境・エネルギー問題を考える③	6時間	30名	6,000円

※先着順とさせていただきます。募集人員を超えた場合は、本学より連絡いたします。

(2) 主な受講対象者

主に高等学校（工業・情報・理科）教諭、中学校（技術・理科）教諭向けの講習内容となっております。受講者を制限するものではありませんので、学校種や教科種等が異なっても、免許職種さえ該当すれば受講可能です。受講者にとって意義ある受講となるか必要に応じて本学から受講動機等を確認させていただく場合があります。

なお、本学が開設する講習は、履修認定対象職種を「教諭」のみで認定申請しておりますので、養護教諭免許状および栄養教諭免許状での申込・受講はできません。

(3) 講習の概要

講習名・開設日	講習の概要
【選択】 環境・エネルギー問題を考える① 令和3年8月4日（水）	環境・エネルギーに関連した科学技術の最新動向について講義し、授業や実験への導入や教材活用のヒントとします。エネルギーが保存すること、物質が循環すること、そしてエントロピーという量が増大することを再確認したのち、環境・エネルギーに関わる時事的な話題について考えます。 また、化学物質、材料をつくる色々な方法や、その時に問題になってくる課題を取り上げ、関連する科学的現象をおさらいしながら環境問題、エネルギー問題とどんな関わりがあるかを考えてみます。
【選択】 環境・エネルギー問題を考える② 令和3年8月5日（木）	環境・エネルギー問題に関する事項を教育に取り入れる必要が益々高まっています。本講習では、地球温暖化の原理、温暖化防止に向けた取り組み、プラスチックごみ問題、自然災害および生活に密接に関連した水資源や廃棄物の問題などを取り上げ、基礎的事項や課題などについて学習し、授業や実験への導入や教材活用について考えます。
【選択】 環境・エネルギー問題を考える③ 令和3年8月6日（金）	「地球最後の日」など、子供時代に読んだSF小説に描かれた世界が現実のものになろうとしています。本講習では、エネルギー・環境問題や地球温暖化対策の現状について講義します。また、「温室効果ガス2050年実質ゼロ」に向けた施策である省エネルギー技術や再生可能エネルギーについても触れます。 太陽光発電や風力発電の実験、オープンソースソフトウェアを使った実験の事例も紹介し、授業や実験への導入や教材活用のヒントとします。本講習は、予備知識なしでも、演習やワークに参加できるような内容です。

(4) シラバス

- ・シラバスは、本要項 7～9 ページ記載の「R03 八戸工業大学 教員免許状更新講習シラバス」を参照ください。

3. 講習開催会場

八戸工業大学構内 青森県八戸市妙字大開 88-1 Tel:0178-25-3111 (代表)

※本学から受講証を返送する際、講習会場を示した「案内図」を同封します。

4. 募集期間および受講料

- (1) 募集期間：令和3年5月20日（木）～令和3年6月25日（金）必着
(2) 受講料（1 講習 6 時間）：6,000 円

5. 申し込み方法

募集期間内に、次の受講申込書類（1）～（5）すべてを受講申込先*に郵送または窓口を持参してください。

受講申込書類	備考
(1) 様式 1 「R03 受講申込書」	・ 本学ホームページから様式をダウンロードし、必要事項を入力または記入、写真貼付の上、所属長等の受講資格確認証明を受けてください。
(2) 様式 2 「R03 受講証」	・ 本学ホームページより様式をダウンロードし、必要事項を入力または記入、様式 1 と同じ写真を貼付してください。
(3) 様式 3 「R03 事前アンケート」	・ 本学ホームページより様式をダウンロードし、必要事項を入力または記入してください。
(4) 「受講料振込み用紙」の写し	・ 最寄りの金融機関から次の振込先に納入してください。 ・ 金融機関領収印が押印された領収証のコピーを提出してください。 ・ ATMから納入された場合は、「ご利用控」のコピーを提出してください。 振込先：青森銀行 湊支店 普通預金 1012351 <small>がっこうほうじん はちのへこうぎょうだいがく</small> 口座名義：学校法人 八戸工業大学
(5) 「受講証返送用封筒」	・ 角形 2 号封筒（横 240 mm×縦 332 mm）に、受講者本人が受信できる郵便番号、住所、氏名を記入し、120 円切手を貼付してください。
■本学が開設する教員免許状更新講習に関する「様式ダウンロード」URL https://www.hi-tech.ac.jp/everyone/teachercourse/ (八戸工業大学ホームページ「地域のみなさまへ」よりお進みください)	

受講申込先*（連絡先） (窓口受付時間) 平日 8 時 45 分～17 時 20 分	〒031-8501 青森県八戸市妙字大開 88-1 八戸工業大学 学務部教務担当 Tel:0178-25-8025 Fax:0178-25-3827
--	---

6. 受講証の発送

受講申込書類の確認後、受講を許可した方には「受講証」を送付します。なお、受講証の発送は、募集期間締め切り日以降となりますので、ご了承ください。

※「受講証」は、講習当日必ず持参してください。

7. 履修認定および履修証明書

- (1) 講習ごとに筆記試験を実施し合否を判定します。なお、試験は講習時間内で行います。履修認定された講習については、「免許状更新講習履修証明書」を次の期日までに受講者宛に送付します。

送付期日：令和3年9月30日(木)まで

- (2) 講習の遅刻および途中退席は欠席として取り扱います。講習の定められた履修時間数が確保できない場合は、履修認定はできません。

8. 受講辞退について

- (1) 受講を許可された方で、受講辞退する場合は「R03 受講辞退届」の様式を本学ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入のうえ、次の受講辞退届提出先（連絡先）に提出またはご連絡ください。ただし、期限を過ぎての受講辞退申し出については、一切受付できませんので、ご了承ください。

受講辞退届提出先（連絡先）	受講辞退届受付期限
〒031-8501 青森県八戸市妙字大開 88-1 八戸工業大学 学務部教務担当 Tel：0178-25-8025 Fax：0178-25-3827 E-mail：menkyo@hi-tech.ac.jp	受講を許可された講習日前日の 16:00 まで (大学休業日に当たる場合はその前日)

- (2) 受講辞退届を受付したのち、受講料から手数料 1,000 円を差し引いて指定の口座に返金します。

9. その他

- (1) 受講料の返金について

次の場合には、納入された受講料を返金します。

- ・本学に帰する事由により講習を開講しなかった場合は、未開講分の受講料を全額返金します。
- ・天災等により本学が講習の開講を中止した場合は、未開講分の受講料を全額返金します。
- ・天災等により本学が講習の開講を延期し、延期した日程に受講できない場合は、未開講分の受講料を全額返金します。

- (2) アンケートの実施

- ・免許状更新講習に係るアンケート（事前調査・事後調査）は法的に義務づけられているものです。事前調査は受講申し込み時、事後調査は各講習の試験終了後に実施します。ご協力お願いいたします。

- (3) 身体上の障がい等により、受講上特別な措置又は配慮が必要な方は、お申し込みの前にご相談ください。
- (4) 受講申込書類は一切返却しません。
- (5) 昼食について
 - ・昼食は各自で準備をお願いいたします。なお、本学の学生食堂および売店も利用できます。また、近隣にコンビニエンスストアがあります。
- (6) 駐車場について
 - ・大学構内の駐車場をご利用ください。

10. 個人情報の取り扱いについて

受講申込書類等に記載された申し込み者の氏名、住所、その他の個人情報は免許状更新講習に付随する業務を行うために利用するものとし、その他の目的には利用いたしません。

なお、免許管理者（都道府県教育委員会）からの履修認定に関する照会に限り、個人情報を提供する場合があります。予めご了承ください。

11. 問い合わせ先

八戸工業大学 学務部教務担当 〒031-8501 青森県八戸市大字妙字大開 88-1 Tel : 0178-25-8025 Fax : 0178-25-3827 E-mail : menkyo@hi-tech.ac.jp

講習名・日時：		主な受講対象者：	担当教員名：
【選択】 環境・エネルギー問題を考える① 令和3年8月4日（水）9:00～16:40		高等学校教諭、中学校教諭	川本 清 小林 正樹
講習の到達目標及びテーマ：			
環境・エネルギー問題や地球温暖化対策等に関する事項について、各専門領域の最近の動向や将来の技術などについて具体的な事例を修得し、教育への導入や教材活用について考える。 ①当該事項に係わる基礎知識、最新動向および関連する科学技術事例の概要を修得する。 ②これらを担当教科の教材の一部として導入・活用できる能力を養う。			
講習の概要：			
環境・エネルギーに関連した科学技術の最新動向について講義し、授業や実験への導入や教材活用のヒントとします。エネルギーが保存すること、物質が循環すること、そしてエントロピーという量が増大することを再確認したのち、環境・エネルギーに関わる時事的な話題について考えます。また、化学物質、材料をつくる色々な方法や、その時に問題になってくる課題を取り上げ、関連する科学的現象をおさらいしながら環境問題、エネルギー問題とどんな関わりがあるかを考えてみます。			
授業計画：			
9:00～10:30 (90分)	人類の活動で用いられるエネルギーも含めた熱学系としての地球環境を、物質循環・エネルギー循環とエントロピーの考え方を通して概観する。(川本)		
10:40～11:40 (60分)	科学的な視点から環境・エネルギー問題を取り巻く状況を捉え、特に物質の環境中への拡散について考える。(川本)		
11:40～12:10 (30分)	筆記試験 (川本)		
13:20～14:50 (90分)	化学物質を工業的に製造する場合と実験室的に製造する場合との違いを比較し、環境への影響も含めて紹介する。(小林)		
15:00～16:00 (60分)	マイクロ波を化学反応の加熱源とした化学反応プロセス、フォトニクスデバイスの基盤材料である酸化物単結晶の工業的製造プロセスを紹介し、環境負荷との関連について考えてみる。(小林)		
16:00～16:30 (30分)	筆記試験 (小林)		
16:30～16:40 (10分)	受講者評価 (小林)		
テキスト：			
教科書は用いない。当日配布資料を使用する。(川本)(小林)			
参考書・参考資料等：			
適宜、講義中に紹介する。(川本)			
使用しない。(小林)			
試験・評価：			
上記「講習の到達目標及びテーマ」①について60%、②について40%の配点割合で筆記試験を行い、総合点で達成度を評価する。60点以上を合格とし、合格者には後日「履修証明書」を発行する。			

講習名・日時：	主な受講対象者：	担当教員名：
【選択】 環境・エネルギー問題を考える② 令和3年8月5日（木）9:00～16:40	高等学校教諭、中学校教諭	野田 英彦 鈴木 拓也
講習の到達目標及びテーマ：		
環境・エネルギー問題や地球温暖化対策等に関する事項について、各専門領域の最近の動向や将来の技術などについて具体的な事例を修得し、教育への導入や教材活用について考える。 ①当該事項に係わる基礎知識、最新動向および関連する科学技術事例の概要を修得する。 ②これらを担当教科の教材の一部として導入・活用できる能力を養う。		
講習の概要：		
環境・エネルギー問題に関する事項を教育に取り入れる必要が益々高まっています。本講習では、地球温暖化の原理、温暖化防止に向けた取り組み、プラスチックごみ問題、自然災害および生活に密接に関連した水資源や廃棄物の問題などを取り上げ、基礎的事項や課題などについて学習し、授業や実験への導入や教材活用について考えます。		
授業計画：		
9:00～10:30 (90分)	地球温暖化が深刻な状況である。本講ではエネルギー消費状況、温暖化の原理を解説し、省エネルギーの重要性を講義する。(野田)	
10:40～11:40 (60分)	青森県は二酸化炭素放出量が少ない原子力発電の中心地である。原子力発電の状況を解説し、基礎知識を講義する。(野田)	
11:40～12:10 (30分)	筆記試験 (野田)	
13:20～14:50 (90分)	地球温暖化の現状と課題① (鈴木) 気候変動と水循環、自然災害、生態系への影響	
15:00～16:00 (60分)	地球温暖化の現状と課題② (鈴木) 気候変動への緩和策・適用策、今後考えるべきこと (資源循環型社会)	
16:00～16:30 (30分)	筆記試験 (鈴木)	
16:30～16:40 (10分)	受講者評価 (鈴木)	
テキスト：		
教科書は用いない。当日、資料を配布する。(野田) (鈴木)		
参考書・参考資料等：		
温暖化について：環境省 (http://www.env.go.jp/press/107914.html) (野田) 原子力関係について：日本原子力文化財団 (https://www.jaero.or.jp/sogo/detail/cat-02-03.html) (野田) 参考書は指定しない。(鈴木)		
試験・評価：		
上記「講習の到達目標及びテーマ」①について60%、②について40%の配点割合で筆記試験を行い、総合点で達成度を評価する。60点以上を合格とし、合格者には後日「履修証明書」を発行する。		

講習名・日時：	主な受講対象者：	担当教員名：
【選択】 環境・エネルギー問題を考える③ 令和3年8月6日（金）9:00～16:40	高等学校教諭、中学校教諭	石山 俊彦 小玉 成人
講習の到達目標及びテーマ：		
環境・エネルギー問題や地球温暖化対策等に関する事項について、各専門領域の最近の動向や将来の技術などについて具体的な事例を修得し、教育への導入や教材活用について考える。 ①当該事項に係わる基礎知識、最新動向および関連する科学技術事例の概要を修得する。 ②これらを担当教科の教材の一部として導入・活用できる能力を養う。		
講習の概要：		
「地球最後の日」など、子供時代に読んだ SF 小説に描かれた世界が現実のものになるようとしています。本講習では、エネルギー・環境問題や地球温暖化対策の現状について講義します。また、「温室効果ガス 2050 年実質ゼロ」に向けた施策である省エネルギー技術や再生可能エネルギーについても触れます。 太陽光発電や風力発電の実験、オープンソースソフトウェアを使った実験の事例も紹介し、授業や実験への導入や教材活用のヒントとします。本講習は、予備知識なしでも、演習やワークに参加できるような内容です。		
授業計画：		
9:00～10:30 (90分)	教材導入の事例案①；エネルギーと教育（石山） ・省エネルギー、再生可能エネルギー、教材導入に向けての指導 ・太陽光発電の基礎知識と利用技術、太陽光発電を取り巻く社会状況	
10:40～11:40 (60分)	教材導入の事例案②；地球環境とエネルギー（石山） ・地球環境保護の視点からのエネルギー利用 ・温暖化ガス対策の現状：回収、貯留、化学原料への変換	
11:40～12:10 (30分)	筆記試験（石山）	
13:20～14:50 (90分)	教材導入の事例案③；風力発電の利用（小玉） ・風力発電の基礎知識、日本及び世界の風力発電の動向について ・シミュレーションや数値解析について	
15:00～16:00 (60分)	教材導入の事例案④；フリーウェアやオープンソースソフトウェアの利用（小玉） ・概要と各種ソフトウェアの紹介、シミュレーションや数値解析の例 ・指導要領との関連、教材導入にあたってのアドバイス等	
16:00～16:30 (30分)	筆記試験（小玉）	
16:30～16:40 (10分)	受講者評価（小玉）	
テキスト：		
教科書は用いない。講習資料は当日配布する。（石山） 教科書は用いない。授業の際、独自のプリントを配布する。（小玉）		
参考書・参考資料等：		
【新・地球温暖化対策教科書 山地 憲治 他著 オーム社】、【エネルギーと社会 迫田 章義 他著 放送大学】（石山） 【「再生可能エネルギー」のキホン（ソフトバンク クリエイティブ(株)、本間、牛山、梶川）】（小玉）		
試験・評価：		
上記「講習の到達目標及びテーマ」①について 60%、②について 40%の配点割合で筆記試験を行い、総合点で達成度を評価する。60 点以上を合格とし、合格者には後日「履修証明書」を発行する。		